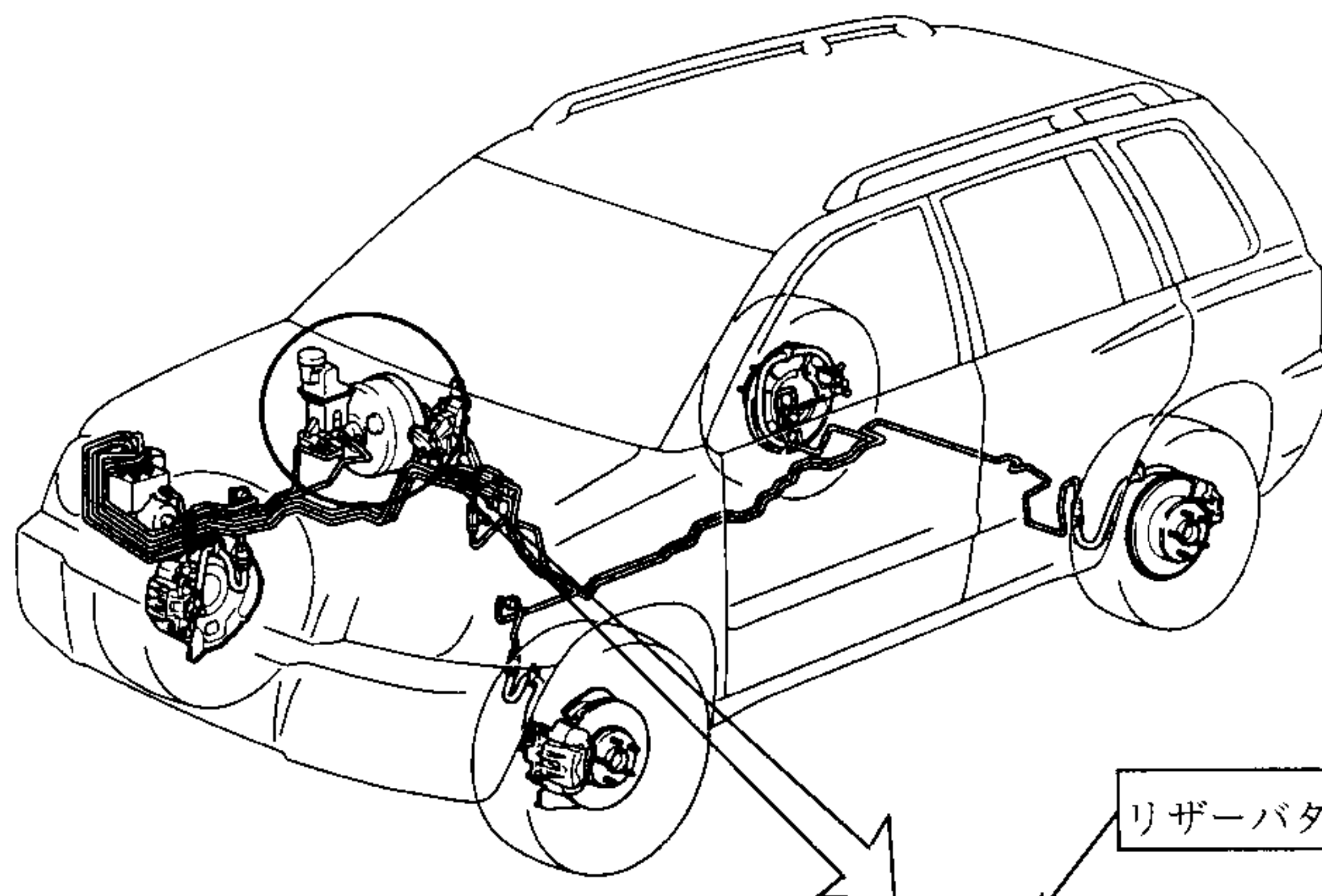


改善箇所説明図



リザーバタンクキャップ

不具合発生箇所

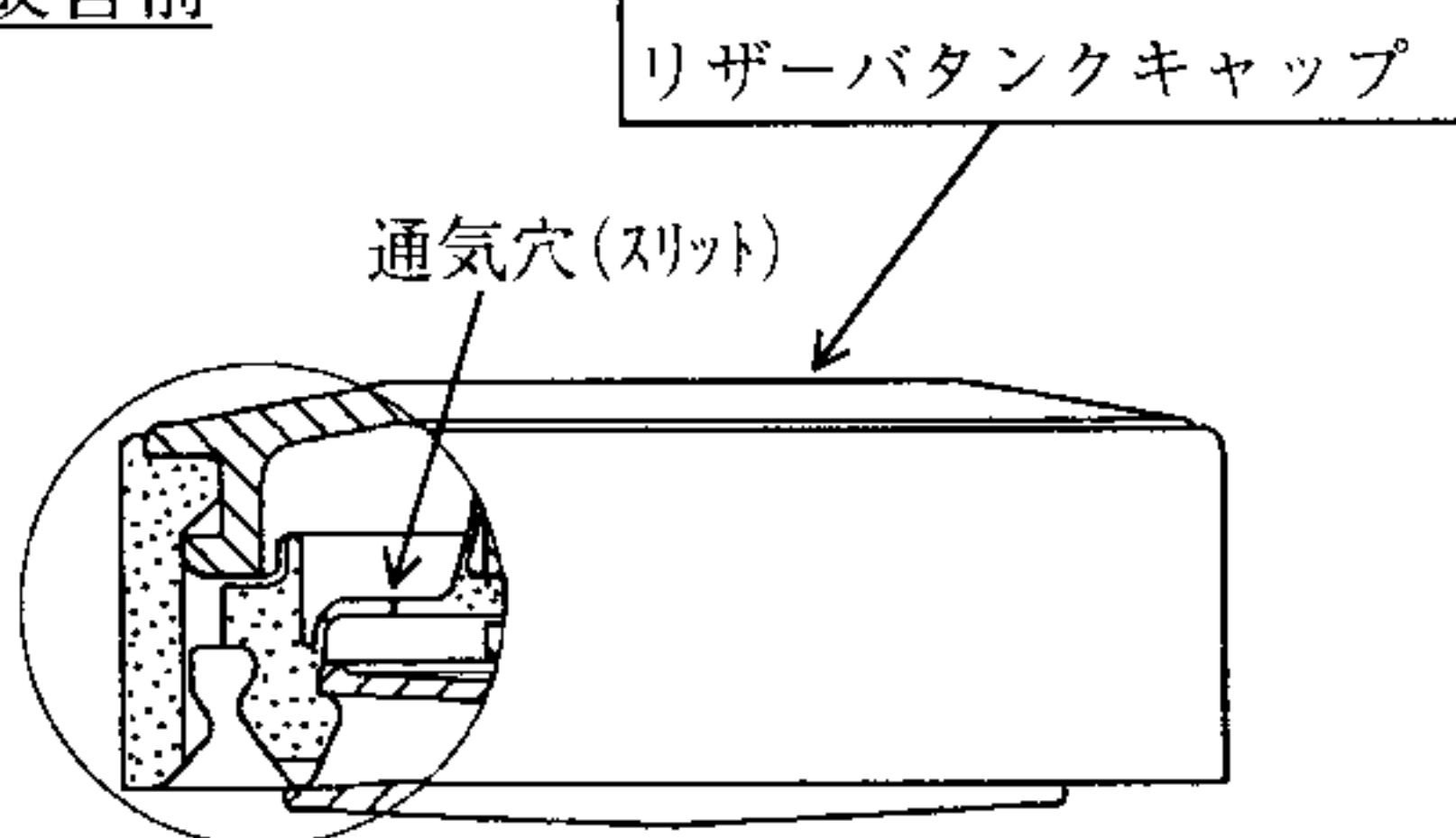
リザーバタンクの通気穴が小さすぎるため、冷間時にブレーキマスターシリンダのリザーバタンク内が負圧状態となることから、この状態でブレーキ操作を行なうと、当該シリンダ内のゴム製シールから微量の空気が侵入することがあり、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキペダル操作時に操作力が伝わらない感じがするとともに異音が生じ、最悪の場合、ブレーキ警告灯が点灯し、ブレーキペダルの踏み込み量が増大するおそれがある。

マスターシリンダ

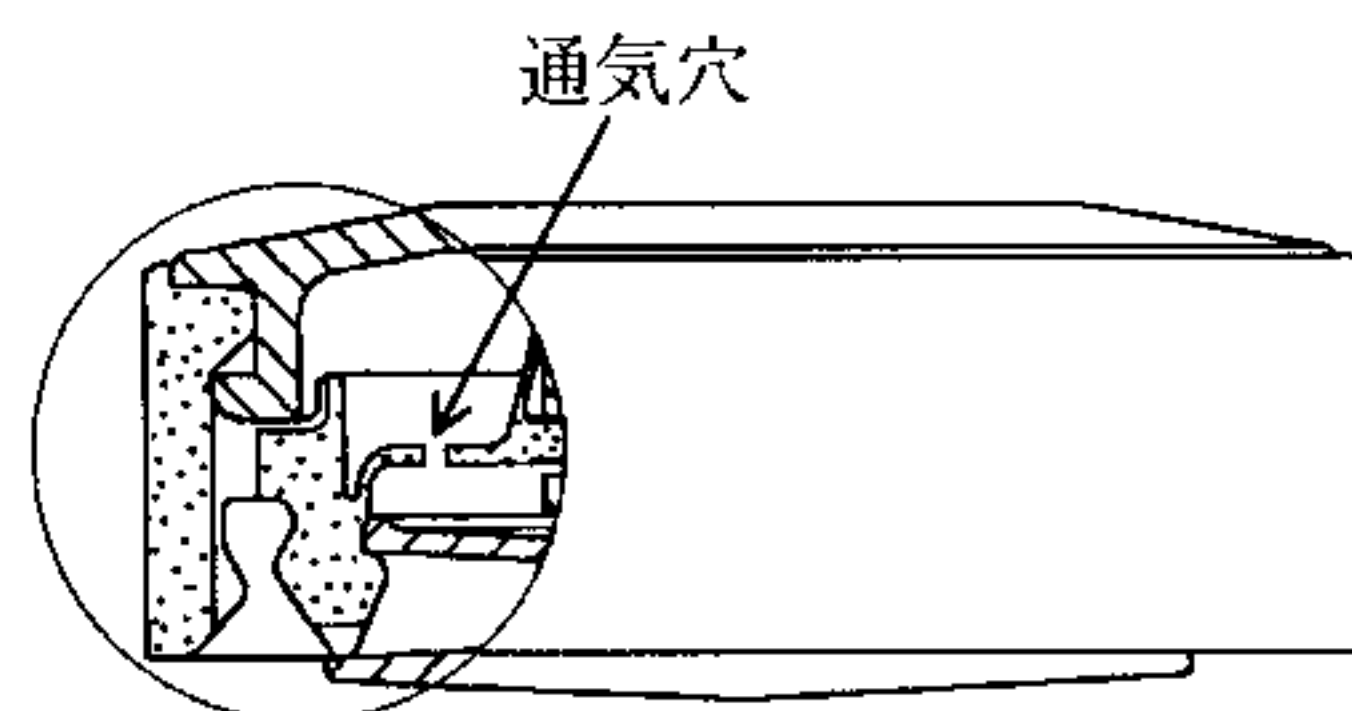
マスターシリンダ&ブースター断面

注： は交換部品を示す

改善前



改善後



改善の内容

全車両、ブレーキ油圧系統の空気抜きを行ない、リザーバタンクキャップを負圧が生じない対策品と交換する。

識別：エンジンルーム右側のボデーパネル上面(サスペンション取付部前方)に黄色ペイントを塗布する。